

第 105 回医師国家試験・微生物学・免疫学関連問題一覧

(臨：臨床問題，図：別冊図表つき問題，X2・X3・EMI：A type 以外の形式)

A問題 (各論：一般 20 問・臨床 40 問。うち EMI が 1 問)

- A1：E 型肝炎 (2 年連続で A の 1 番が感染症でした！)
- A5：呼吸器感染症の原因菌 (良問)
- A15：(X2) 胸部で結節影をみる疾患 (クリプトコックスがそのひとつ)
- A37：(臨・図) ランブル鞭毛虫症 (病理学的には”monkey face”っていわれるけど、小生はゲイラカイト (死語：右下図) みたいだと思っています・・・)
- A42：(臨) アスペルギローマ？
- A47：(臨) 溶レン菌感染後急性糸球体腎炎
- A51：(臨・X2) 肺炎の Gram 染色所見
- A54：(臨・X2) 百日咳の合併症
- A55：(臨・X2) 淋菌感染症 and/or 性器クラミジア感染症
- A59：(臨・X3) HIV 感染症＋カンジダ舌炎・下痢。



B問題 (総論：一般 40 問・臨床 22 問。うち EMI が 1 問)

- B18：開発途上国の保健医療の現状
- B21：2 量体を形成する免疫グロブリン
- B30：(X2) EKC の院内感染対策
- B38：(X3) MDRP の判断基準 (難しすぎるとして採点除外となったが良問と思う)
- B44：(臨) Goodpasture 症候群 (頻出)
- B62：(グラフ・EMI) 感染症患者数の年次推移 (良問)

C問題 (必修：一般 15 問・臨床 16 問)

- C11：疾患の危険因子 (胃癌とピロリは○)
- C18：院内の各種委員会 (会話内容は ICC よりむしろ ICT だとも思うが・・・)

D問題 (各論：一般 20 問・臨床 40 問。うち EMI が 3 問)

- D5：小児の HUS の原因
- D13：感染症と腎疾患 (膜性増殖性腎炎と C 肝の関連は 103 回でも出ましたね)
- D15：(X2) 原発性免疫不全症候群
- D19：(X2) 緊急手術を要する疾患 (少なくとも壊死性筋膜炎はデブリーかアンプタ)
- D31：(臨) いわゆる Ramsay Hunt 症候群
- D32：(臨・図) HIV 感染者の Kaposi 肉腫
- D33：(臨・図) 疥癬 (ネコ飼育歴はひっかけ。キーは看護師という職業と思う)
- D40：(臨・図) IE (感染性心内膜炎)
- D43：(臨・図) パルボウイルス B19 の aplastic crisis (原疾患はよく分かりません)
- D47：(臨・図) つつがむし病 (典型的な刺し口，セフェム無効，DIC に注。)
- D49：(臨・図) BCG 接種後のコッホ現象 (訂正！！難しすぎるとして採点除外。
潜在性結核感染者に BCG 接種した際に起こる。よって対応はツ反によって偽コッホ現象と鑑別することが正解。QFT は乳児には適応できない。)

E問題（総論：一般40問・臨床29問）

- E17：(図) Gram 染色所見（5つの図どれも典型的なので極めて良問！）
- E25：(準臨床) バンコマイシンの TDM (PK/PD はすでに学生レベルなのね)
- E29：(グラフ) 死因の統計（結核と勘違いしないでください）
- E32：(X2) 人畜（人獣）共通感染症
- E33：(X2) 定期予防接種対象疾病
- E40：(臨) 妊婦のインフルエンザ
- E42：(臨・図) ATL
- E45：(臨) 子宮外妊娠の原因としての性器クラミジア感染症

F問題（必修：一般15問・臨床16問）

- F1：細菌培養検体の保存法
- F11：ROC 曲線
- F17：(臨) ショックの鑑別（出題例は hypovolemic shock）
- F25：(臨) 結核疑い患者の院内感染対策（N95 マスク）
- F30：(臨2連問) 高齢者の市中肺炎（empiric ガイドラインを知っていれば OK）

G問題（総論：一般40問・臨床29問。うち EMI が2問）

- G6：胎盤を通過する免疫グロブリン
- G9：環境問題と疾患（マラリアは温暖化。砂漠化すると蚊がいなくなるよお）
- G11：褥瘡治癒（消毒は逆効果とはっきり言う時代になったのですね）
- G29：(X2) 結核の疫学的対策
- G43：(臨) HIV 感染症＋ニューモシスチス肺炎
- G46：(臨) 誤嚥性肺炎

H問題（必修：一般20問・臨床18問）

- H28：(臨・図) 水痘（顔面所見が典型的）
- H37・38：(臨2連問) 小児溶レン菌性咽頭炎（ペニ禁の抗菌薬，続発症の症状。ともに明らかに「変化球」です。今回国試の典型例かも。）

I問題（各論：一般40問，臨床40問。うち EMI が3問）

- I5：外陰部潰瘍を来す疾患
- I15：細菌性食中毒各論（原因臨床経過予防治療合併症とテーマ散逸の典型的悪問）
- I22：ヘルパンギーナ
- I23：細菌が原因となる皮膚疾患
- I25：ピロリ除菌の適応（ITP が早速出ましたよ！）
- I54：(臨) 伝染性紅斑（永山斑＝口蓋垂の根元両側の粟粒大紅色隆起）
- I69：(臨・X2) ノロウイルス感染症の特養における感染対策